

統計

◎一九一七年^(自七月至九月)期間に於ける英國の鐵輸出

一九一七年第三期に於ける英國の鐵輸出は本年度前二期よりも更に巨額に上り礮石を除き鐵屑を加算せる輸出總計は第一期の六三六、三九七噸及第二期の六〇〇、五九一噸に對し六六〇、六四四噸に上れり而して第三期の輸出中七月分二六八、一九〇噸は本年度の最高額にして爾來漸次減少して九月には本年度の最低額たる一七七、三九三噸に減少す。

銑鐵の輸出は相當順境にして七月分六七、三八二噸八月分五六、九九六噸九月分五九、八六九噸なりとす鐵合金就中鐵滿俺の輸出は現今にては普通の狀態を維持せるものにて其輸出は七月分六、七〇九噸八月分八、三八三噸九月分八、一九七噸なりとす此三ヶ月間の銑鐵及鐵合金の輸出總計は第一期の二〇〇、八六五噸及第二期の二二二、七三二噸に對して略同額の二〇七、五四〇噸なりとす。

第三期の軌條輸出は一二、一三九噸にして第一期は一二、九三八噸第二期は六、八〇八噸なりとす其輸出が順境に非ることは一九一三年の最初九ヶ月間の輸出か三七九・一〇

五噸にして一九一四年十月一日迄の輸出か三六五、九三九噸なるに比すれば自ら瞭然たり第三期の棒鐵輸出額は一五七、三二四噸にして前二期の各一〇三、五九二噸及七三、〇二七噸の輸出を凌駕せり七月分六八、一〇三噸の輸出は八月分五二、五九四噸及九月分三六、六一七噸に比して本年度中の最高額に上れるものなり而して一九一七年十月一日迄の總計三三三、九三三噸に對し一九一六年十月一日迄の總計は四九八、〇七三噸なりとす。

礮石を除き鐵屑を加算せる鋼材の輸入額は前二期の各九六、三九七噸及一〇五、七七九噸を凌駕して一五七、六六五噸に及へり八月分七三、二九六噸の輸入は本年中他の月に比して最高額に達せり之れブルーム、ビレット、スラブの輸入比較的多きに基因するものなり而して一九一七年十月一日迄の總輸入額三五九、八四一噸に對し一九一六年十月一日迄の總輸入額は六一〇、八〇三噸にして尙一九一三年十月一日迄の輸入は一七〇八、一七四噸なるを見れば之即ち輸入の衰退を示すものなり。

第三期のブルーム、ビレット、スラブの輸入は第一期の二、九二七噸及第二期の八、六八七噸に對して三四、六三三噸なり而して其八月分二四、六一五噸の輸入は本年度中の最高額にして一九一八年十月一日迄の輸入總計五五、二四七噸は一九一六年十月一日迄の總計一一七、八〇〇噸に對し約半額に減少す尙此輸入の減少は一九一五年十月一日迄

の輸入總計二五九八、六七二噸に比し更に大なり。

一九一七年

一期自一月
至三月

二期自四月
至六月

三期自七月
至九月

總計自一月
至九月

一九一六年
自一月至九月

輸出		鐵材輸出總計(礦石を除き) 銑鐵及鐵合金總計	
軌	條	六三六、三九六	六〇〇、五九一
棒	鐵	三〇〇、八五五	二二二、七三三
		二二、九三六	六、八〇八
		二〇三、五九二	七三、〇二七
		九六、三九七	二〇五、七九
		一一、九二七	八六、六七
輸入		鐵材輸入總計(礦石を除き) 銑鐵を含む	
		六三六、三九六	六〇〇、五九一
		三〇〇、八五五	二二二、七三三
		二二、九三六	六、八〇八
		二〇三、五九二	七三、〇二七
		九六、三九七	二〇五、七九
		一一、九二七	八六、六七

鐵材に關する英米兩國の統計

インゴット、ビレット、ブルームの輸入に關し英國當局者の計上したる統計と英國への輸出國たる合衆國政府の發表したる統計との間に大なる相違あり今其對比を示せば左の如し。

英國の輸入報告 合衆國の英國
向輸出報告

至一九一七年八月一日 三一、八九〇噸 三六一、九八一噸
至一九一七年九月一日 五七、〇六六 四八六、〇五四
此の統計上の相違は英國輸入の報告にてはビレット、ブルームを巨額に輸入する英國政府の統計を加算せざるによるへしと云ふ。

◎一九一七年に於ける米國製鐵量の一斑

一九一七年十二月中三十一日間に於ける銑鐵生産量は二

百八十八萬二千九百十八噸にして、一日の生産量は平均九萬二千九百九十七噸に當れり。之を十一月中三十日間の總生産量三百二十萬五千七百九十四噸に較ぶれば、十二月は一日に付平均一萬三千八百六十二噸の生産量を減したる次第なり。毎年十二月は十一月より其の生産量の減退するは常例なりと雖、而も之か減少の甚しき一日の生産率は實に一九一五年九月以來の最低量なりとす。斯の如き現象を呈せしは目下骸炭の缺乏と幾多の他事情との伏在せるに原因し、遂に多數の製鐵所は休業するの止むなき姿と成り、二四基の烟突は徒らに中空に聳ゆるのみ。

今自一九一六年十二月 每月一日間の骸炭無烟炭製銑鐵の產出量
至一九一七年十二月 量を噸にて示せば次表の如し。

年	月	製鋼工場用	商買用	全額
一九一六年	十二月	七四、六四	二六、七三	一〇一、三七
一九一七年	一月	七三、九四	二九、二四	一〇三、一八

一九一七年十二月より前三ヶ月に遡り、各州に於ける骸炭及無烟炭を燃料に使用し製出したる銑鐵の總噸數を示せは次表の如し。

各州に於ける生産額

同	年	二月	六五、二八〇	二九、一九三	九四、四七三
同	年	三月	七三、七二一	三三、一三三	一〇四、八六三
同	年	四月	七九、〇三一	三三、三四四	一一一、二五五
同	年	五月	七五、五六一	三三、六七七	一一〇、三三八
同	年	六月	七六、八〇五	三三、一九七	一〇九、〇〇二
同	年	七月	七六、四〇〇	三三、二六〇	一〇八、八三〇
同	年	八月	七三、三九〇	三三、一七五	一〇四、四六五
同	年	九月	七六、六四四	二九、八八六	一〇六、五五〇
同	年	十月	七五、一三五	二九、七四四	一〇六、八五九
同	年	十一月	六六、六〇五	二六、三九三	九二、九九七

州	名	九月(三十日間)	十月(三十一日間)	十一月(三十日間)	十二月(三十一日間)
ニュウ、ヨーク	ニュウ、ヨーク	一八二、七二一	二〇二、九三九	一八八、七六〇	一七五、九三九
ニュー、ジャージー	ニュー、ジャージー	二五、一六九	二七、五九七	二八、二〇五	一九、四九五
リーハイ、ヴァレー	リーハイ、ヴァレー	二〇、四一八	二七、五三三	二二、七五八	一〇六、七〇〇
スクールキル、ヴァレー	スクールキル、ヴァレー	七五、七二七	八〇、四七六	八〇、二二二	六〇、九四九
ローワー、サスケハナ	ローワー、サスケハナ	八四、七五八	九〇、三六六	九一、〇三三	六九、三三八
リバン、ヴァレー	リバン、ヴァレー	六六、六六二	六六、七三二	六六、九〇九	六九、八八〇
ビツクバーグ、デイストリクト	ビツクバーグ、デイストリクト	一四、〇三〇	一六、六六五	一四、八六二	一三、四四〇
シエナゴ、ヴァレー	シエナゴ、ヴァレー	二二、五二三	二二、八八四	二〇、三五六	六八、六二二
西部ペンシルヴァニア	西部ペンシルヴァニア	九〇、四六六	一〇〇、四六六	九三、六五三	二四、七九一
メリー、ランド、ヴァージニア	メリー、ランド、ヴァージニア	二八、一九五	二八、九〇六	二二、六八五	二二、〇五五
マホニング、ヴァレー	マホニング、ヴァレー	三〇、五七〇	三二、九〇六	二七、四七八	五、三五〇
中央及北部オハイオ	中央及北部オハイオ	二七、一五九	二七、五九六	二六、七二八	四三、〇三八
ホツキングヴァレー、ハンギング、ロック、南西部オハイオ	ホツキングヴァレー、ハンギング、ロック、南西部オハイオ	六三、四九九	六四、〇六一	六六、三四四	五一、三五〇

統計

シカゴ、デイストリクト
ミチガン、ミネソタ、モン
タナ、ウスコンシン、コロム
ビア及ワシントンの各州
ア ラ バ マ
テネッシー及ジョージア

計

一九一七年十二月及本年一月中に於て骸炭並に無烟炭を燃料に使用する熔鑛爐一日間の銑熔融量噸を示せは左の如し。

熔鑛爐所在地

煙突數

一九一八年一月
一九一七年十二月

熔鑛爐の數	一日の熔鑛量	熔鑛爐の數	一日の熔鑛量
ニュウ、ヨーク州	一九	二八	四、九七九
バツファロー	四	三	五三三
他の地方	四	四	七七八
ニュー、ジャージー州	一	一	三三
(滿俺鐵)	二	二	三、三六七
ペンシルヴァニア州	二	二	一九一
リハイヴァレー	一	一	二五
(鏡鐵)	二	二	一、七六三
スクールキル、ヴァレー	一	一	六二
(鏡鐵)	一	一	一九五〇
ローワー、サスケハナ	六	六	七六
(鏡鐵)	二	二	四九一
リバン、ヴァレー	八	五	四〇
(滿俺鐵、鏡鐵)	三	一	四〇
ビツクバーグ、デイストリクト	五	四	一九四五〇
(滿俺鐵、鏡鐵)	四	二	三五二
シエナゴ、ヴァレー	一	一	四一四〇
西部ペンシルヴァニア	二	二	五七五六
(滿俺鐵、鏡鐵)	三	一	七七
メリー、ランド	四	一	三四〇
ホウイリリング、デイストリクト	一四	九	三、三三九

二九五

鉄 と 鋼 第四年 第三號

二九六

オハイオ州マホニングヴァレー	二六	八、九六	三〇	九、三六
中央及西部オハイオ	二六	七、八七	三三	八、八〇
ホツキング、ヴァレー	二七	一、八四	一四	一、八八
ハンギング、ロツク。及	二七	一、八四	一四	一、八八
南西部オハイオ	二七	一、八四	一四	一、八八
イリノイス及インディアナ州	二六	一、三六	一四	一、五五
(滿俺鐵)	一	一	一	一
ミチガン、ウイスコンシン。	一	一	一	一
ミネソタの各州	一	一	一	一
コロラド。モンタナ及ワ	一	一	一	一
シントンの各州	一	一	一	一
(滿俺鐵)	一	一	一	一
ヴァージニア州	一	一	一	一
(滿俺鐵)	一	一	一	一
ケンタツキー州	一	一	一	一
アラバマ州	一	一	一	一
テネツシー及ジョージア州	一	一	一	一
總計	四六	三三	三三	三三

合衆國製鋼組合及組合以外の各地製鋼會社毎月の製鐵量を調査するに、滿俺鐵及鏡鐵を併せ其の全額(噸)は次表の如し。

		銑鐵產出		全量		鏡鐵及滿俺鐵產出量	
		一九二五年	一九二六年	一九二七年	一九二五年	一九二六年	一九二七年
一	月	一、二五、九四四	二、二五、一〇五	二、三四、二〇三	一、八〇、四二	二、四八、六六	三、八七、九三
二	月	一、三三、三六〇	二、二八、八四四	二、八三、八四六	一、三三、九	二、三三、八七	三、一、三七
三	月	一、五二、〇八二	二、三六、五二六	二、六五、四〇〇	一、三三、七四	二、三三、八八	三、六五、六三
四	月	一、五八、四二二	二、三六、七六八	二、三〇、九七七	一、三三、七	二、三八、六	三、六五、五五
五	月	一、六四、二九〇	二、四〇、八八〇	二、四〇、八八〇	一、三三、四〇	二、五八、四四	三、七〇、一一
六	月	一、七〇、六五九	二、三九、七四	二、三〇、四二五	一、二九、一〇〇	二、六五、九七	三、〇八、三九
七	月	一、九四、七五〇	二、三〇、六三三	二、三六、六〇〇	一、二八、五四	三、一、五五	四、八八、八四
八	月	二、一〇、八二八	二、三三、一三三	二、三四、五三三	二、七、四四	三、三八	三、九四、九二
九	月	二、二九、三三三	二、三〇、九七〇	二、二九、七五	二、三、一五	二、九四、五一	四、三、三五
十	月	二、二六、一四五	二、五三、〇八〇	二、三七、五八九	二、三、九九二	三、四、五六	四、六八、九一

今一九一三年以後合衆國に於ける各月の骸炭及無烟製銑鐵の生産總額噸を示せば次の如し。

	一九一三年	一九一四年	一九一五年	一九一六年	一九一七年
一月	二、七五、三三	一、八八、五五	一、六〇、四二	二、一八、五五	三、一五、〇九
二月	二、五八、三三	一、八八、五五	一、六〇、四二	二、一八、五五	三、一五、〇九
三月	二、七五、三三	一、八八、五五	一、六〇、四二	二、一八、五五	三、一五、〇九
四月	二、七五、三三	一、八八、五五	一、六〇、四二	二、一八、五五	三、一五、〇九
五月	二、七五、三三	一、八八、五五	一、六〇、四二	二、一八、五五	三、一五、〇九
六月	二、七五、三三	一、八八、五五	一、六〇、四二	二、一八、五五	三、一五、〇九
七月	二、七五、三三	一、八八、五五	一、六〇、四二	二、一八、五五	三、一五、〇九
八月	二、七五、三三	一、八八、五五	一、六〇、四二	二、一八、五五	三、一五、〇九
九月	二、七五、三三	一、八八、五五	一、六〇、四二	二、一八、五五	三、一五、〇九
十月	二、七五、三三	一、八八、五五	一、六〇、四二	二、一八、五五	三、一五、〇九
十一月	二、七五、三三	一、八八、五五	一、六〇、四二	二、一八、五五	三、一五、〇九
十二月	二、七五、三三	一、八八、五五	一、六〇、四二	二、一八、五五	三、一五、〇九
總計	三、七四、一〇一	三、七四、一〇一	三、七四、一〇一	三、七四、一〇一	三、七四、一〇一

一九一〇年以後合衆國に於ける骸炭及無烟炭製銑鐵の平均一日間の生産量(噸)を比較するときは次表の如し。

	一九一〇年	一九一一年	一九一二年	一九一三年	一九一四年	一九一五年	一九一六年	一九一七年
一月	八、四、四八	五、七、五二	六、六、四四	九、〇、八八	五、六、五九	一〇、一、七四	一〇、一、六四	一〇、一、六四
二月	八、四、四八	五、七、五二	六、六、四四	九、〇、八八	五、六、五九	一〇、一、七四	一〇、一、六四	一〇、一、六四
三月	八、四、四八	五、七、五二	六、六、四四	九、〇、八八	五、六、五九	一〇、一、七四	一〇、一、六四	一〇、一、六四
四月	八、四、四八	五、七、五二	六、六、四四	九、〇、八八	五、六、五九	一〇、一、七四	一〇、一、六四	一〇、一、六四
五月	八、四、四八	五、七、五二	六、六、四四	九、〇、八八	五、六、五九	一〇、一、七四	一〇、一、六四	一〇、一、六四
六月	八、四、四八	五、七、五二	六、六、四四	九、〇、八八	五、六、五九	一〇、一、七四	一〇、一、六四	一〇、一、六四
七月	八、四、四八	五、七、五二	六、六、四四	九、〇、八八	五、六、五九	一〇、一、七四	一〇、一、六四	一〇、一、六四

備考 上表の總額には木炭製銑鐵を含みますと雖一九一七年度の製產最は四〇〇〇噸を下らざるなりといふ。

八月	五七、六三	五八、〇〇	五八、四六	五八、〇七	五八、六三	五八、六六	五八、四六	五八、七三
九月	六四、七五	六五、〇三	六五、二八	六五、五三	六五、七五	六五、八五	六五、四五	六五、四五
十月	六五、五〇	六五、八二	六六、七三	六七、三三	六七、六二	六八、三三	六八、八二	六八、五〇
十一月	六五、五九	六六、四八	六七、七五	六八、四三	六八、六二	六八、四四	六八、四四	六八、九二
十二月	五七、四九	五八、九三	五九、六六	六〇、九七	六一、六六	六二、三三	六二、五七	六二、九七

●加拿陀銑鐵及鋼鐵產出概況

(オタワ駐在
總領事報告)

一九一六年(曆年)に於ける加拿陀銑鐵及鋼鐵の産額は近年稀なる好況を示せり其産額即ち左の如し。

銑鐵 百十六萬九千二百五十七輕噸

鋼鐵塊及鋼鐵屑 百四十二萬八千二百四十九輕噸

歐洲戰爭勃發の前年即ち千九百十三年に於ける鐵の産額は從來の最高記録を示したりしか歐洲戰爭開始以來一般事業の萎縮勞力不足等の原因に基き其産額噸に減少したるか一九一六年度に於て前記の如き産額の激増を見たるは一に軍需品の需要増加の刺激に基因すと謂ふへし然れとも鐵の産額増加は必ずしも鐵鑛石の産出激増を意味するものにあらずして一九一六年度に於ける加拿陀鐵鑛の産出は二十七萬五千七十六輕噸にして之を一九一五年に比するときは實に十二萬二千九百三十六噸の減少を示せり而して一九一六年に於て使用せられたる鐵鑛中二百三十三萬九千六百七十七噸は輸入せられたるものなり輸入先の主なるもの左の如し。

北米合衆國 百三十六萬四千九百九十二噸

統計

新西蘭 九十七萬四千六百八十五噸

一、銑鐵(Pig iron)

一九一六年に於ける銑鐵の産出地は主としてノヴァスコシア及オンタリオの二州にして前者は四十七萬五千五百噸後者は六十九萬九千噸を産出せり而して右二州に於ける熔鑛爐は地勢の關係上夫々原料鑛石を異にしノヴァスコシア州は主としてワバナ(新西蘭)の鑛石を輸入しオンタリオ州は専ら合衆國スーペリオアデイストリクとの鑛石を輸入しつゝあり。

今一九一三年及一九一六年に於ける銑鐵の産出額を品質に依り區別すれば左の如し(單位噸)

	一九一六年	一九一三年
ベシツク銑鐵	九五三、六二七	六一四、八四五
ベスマー銑鐵	三一、三八八	二六五、六八五
ファウンドリー其他	一八四、二四二	二〇五、七九四

更に燃料に依り區別すれば左の如し(單位噸)

	一九一六年	一九一三年
木炭を燃料としたるもの	一七、三〇四	二三、六九六
骸炭を燃料としたるもの	二五、九五三	二〇五、二七一

次に一九一六年に於ける銑鐵の輸出額は四萬六千六百噸(内二萬二千八百二噸は Ferro alloys)なり元來加拿陀に於ける銑鐵の輸出は一九〇五年より一九一三年に至る迄僅々一萬噸を出てす而も其輸出の大部分は Ferro alloys なりしか一

九一四年に於て悉德尼より費府に僅少の銑鐵輸出を爲したり輸入は年々相當の額に上り一九一六年に於ては米國より五萬七千二百五十六噸英國より五百九十六噸其他の諸外國より二百八十餘噸を輸入せり而して合金類の輸入は一萬四千七百七十七噸なり。

二、鋼 鐵

一九一六年に於ける鋼鐵（ステイル、インゴット及ステイル、キアステイング）の產出額は百四十二萬八千二百四十九噸にして一九一五年に比し四十萬七千三百五十三噸の増加を示せり右產出額を品質に依り區別すれば左の如し。

ステイルインゴット	一、三七七、三八七	輕噸
オーブンハース	一、四一六	
ベ ス マ ー	一八、九〇〇	
電氣鋼鐵其他	二二、四六九	
ステイルキアステイング	七、〇五〇	
オーブンハース	九四九、四四四	輕噸
電氣鋼鐵其他	二五、九四〇	
銑 鐵	六七九、一六二	
フエロアロイス	五五、〇五九	
鐵屑及鋼鐵屑	一、五七八	
鐵 鑛		
マンガニーズ鑛		

フルールスパー 一三、二二三
石灰石及白雲石 二二四、七七二

前表に依るときは鋼鐵製造に使用せらるゝ鐵屑及鋼鐵屑の消費額著しく増加したることは注目し價すべく一九一五年に於て銑鐵一〇〇噸に對し鐵屑五五、二噸の割合なりしか一九一六年に於ては鐵屑七一、五噸の割合を示せり。

次に鋼鐵製品の一九一六年に於ける產額左の如し（單位輕噸）

	一九一三年	一九一六年
鋼鐵レール	五五四、〇〇〇	九〇、〇〇〇
ワイヤー、ロッド	五七、〇〇〇	一七九、〇〇〇
鋼鐵棒及板	二六九、〇〇〇	六一九、〇〇〇
其他諸製品	五一、〇〇〇	一五二、〇〇〇

右鋼鐵製品の内昨年度に於ける鋼鐵レール製造高の著しき減少はレールの使用及新鐵路建設手控等に因る次に鋼鐵諸製品の一九一六年輸出高一九一三年に比し大に増加を示したるは戰時に於ける一時的の現象と見るべく戰後減少を來すは推知するに難からず。

一九一六年度に於ける銑鐵及鋼鐵產出狀況大要右の如しと雖も加拿陀か過去三年間軍需品製造に努力したる經驗は戰後一般工業界の發展に裨益する所蓋し鮮少なからざるべし。

●輸出入貨物品別表(大藏省發行の大正六年十二月外國貿易)
 (月表中鐵及鋼に關するもの左表の如し)

第一輸出貨物品別表

内國產品	大正六年十二月		大正六年累計		大正五年十二月累計	
	數量	價額(圓)	數量	價額(圓)	數量	價額(圓)
鐵塊及錠(斤)	一、四三、三八一	三三九、七四四	四、七四六、三七七	七九四、二七三		
條竿及板(斤)	二、一四〇、〇三三	五七七、六八一	二、三八六、一二七	五、〇三三、二二六		
線索(斤)	一、三三三、七三九	四三四、五三〇	一一、三一九、二七九	三、六三四、三九二		
筒及管(斤)	三三〇、二七六	八五、五六六	一四、〇五〇、八七六	二、〇三九、七八七	七、五二七、一八五	九三〇、四二二
鐵鍋及鐵釜		一九、四八五		三〇六、九〇六		三四五、〇九〇
鐵製品		二、三三三、〇一〇		二九、三八一、二八九		一六、五九九、六六六
人力車(輛)	四九七	一三、八八一	五、三五三	一六八、〇六一		
船舶(汽船)	三	一四、〇九四、〇〇〇	七九	九七、六七九、一六〇	六七	一七、一七八、六二五
機械同部分品及附屬品		一五、七四一、三三五		一一七、七四四、八七二		三四、九四六、四五四
石炭(噸)	二七、一五三	三、三五四、六三五	二、七九一、一三三	二六、四五三、九四一	二〇、四〇六、四六九	一九、四〇五、九六四
コ	三三八	一二、六五五	三、三三六	一一三、二〇九	三、五八五	七一、七〇三

第二輸入貨物品別表

外國產品	大正六年十二月		大正六年累計		大正五年十二月累計	
	數量	價額(圓)	數量	價額(圓)	數量	價額(圓)
鐵鑛(擔)	二〇四、一四八	一三六、九四六		四、九五四、一九六	四、六六九、〇〇九	一、六七一、七四〇

外 國 産 品	大正六年十二月		大正六年累計		大正五年十二月累計	
	數	價 額(圓)	數	價 額(圓)	數	價 額(圓)
銑 鐵(斤)	三八、四六三、八〇五	三、六一四、九〇六	三八七、〇八六、五〇九	二、三八四、八三三	三八六、七四六、八五三	一、三、七九四、三〇三
スビーゲルアイゼン(斤)	一、五二四、〇九六	一四八、九四二	二、〇四三、九八二	一九一、〇〇七	一、五六六、七二八	八八、五七九
フエロマンガニース(斤)	三三九、三〇二	七五、八九一	一、〇〇五、二二三	一九五、一七一	三、九一七、六七六	五八三、一四六
フエロシリコン及シリ(斤)			七七四、六一〇	一五一、九四四	三、二八六、四八六	四、五八、七四三
フエロシリコンアイゼン(斤)			八九〇、九〇四	三三四、五四九	五七五、〇二五	二〇三、五二二
他不可鍛性鐵合金(斤)	一四、三六一	四五、八四三	三、三三一、九三三	五一五、〇〇八	一、七七四、三三四	一、五三二、四六五
インゴット及スラブル(斤)	五三〇、七四二	一二、五八四	二、八四六	七五三	六二七、六六七	六七、一九三
ケツグ及バンブースチル(斤)						
條竿、テールアンゲル形鐵類(斤)	三、八九九、七四六	六、一三、九七七	三三九、三九八、四八二	四六、三六九、四三八	二、三九、四三〇、〇一六	二、五〇七、八九二
ワイヤ ロッド(斤)	一一、一四二、一〇〇	二、三五四、一〇六	四二、二九〇、四四三	九、九三〇、六四四	三、一五〇、〇二二	四、〇七六、〇八二
板 (金屬を鍍せざる)(斤)	二九、五七六、七〇三	八、七五四、七三〇	四九八、六五〇、五九九	九一、七一五、五四五	二六八、五九九、〇二三	二、七四二、〇三八
板 (電鍍したる)(斤)	一〇四、九三六	二八、八五七	七、二九八、五五六	一九〇六、七〇〇	八、一三四、三二一	一、一五八、五六三
板 (葉鐵葉鋼其他)(斤)	三、三三三、六六〇	一、二二八、四九二	四五、一六三、五六八	一一、〇八九、七二二	六七、八四二、五八九	一〇、五四三、一六九
線 (金屬を鍍せざる)(斤)	四五四、三六九	九四、三四七	七、三四七、三八六	一、三〇三、〇五〇	四、七七五、三三八	六、一五、九五八
線 (電鍍したる)(斤)	二、四六八、〇〇九	四九一、三五六	三〇、九九三、七七三	五、八八八、七五五	三〇、七〇六、二七七	四、三三四、三六五
屑 鐵 及 故 鐵(斤)	一一、一六五、九〇五	八一八、六六四	一一六、三〇八、〇〇六	五、九一二、八五七	六一、七七四、一五六	二、一〇三、一二四
線 索 及 撚 合 線(斤)	八、一七六、四	二四、三八七	六〇五、四六一	一七〇、二二八	七五八、七二八	一八三、三三九
筒 及 管(斤)	四、四四三、四八八	一、二六八、七三五	四五、二七七、二一六	八、九〇五、九〇〇	二八、〇九二、四三二	三、四三四、五四四

帶 及 箍(斤)	釘 類(リベ、ス、パイキ)	鐵道建設材料(レール、その他)	電線支柱及同支架构用材料	家屋橋梁船舶等建設材料	鐵道車輛及同部分品	自動車及同部分品	自轉車及同部分品	汽船(船齡十年以下)(隻)	同(其他)(隻)	汽罐同部分品及附屬品	フューエルエコノマイザー(斤)	蒸氣機關	瓦斯、石油、熱氣機關	ウオータータービン及ベルトン水車	發電機電動機類	縫衣機	金屬工及木工機械	紡績機	石炭(噸)	コークス(噸)
七七〇、六四〇	二、三四四、七七一	一三、三二二、六六六	—	一三一、四三五	—	一二七	三四	二	六	—	一六、七六五	九、九四四	四、五八五	一六二、五六六	七三、三五八	二二八、四二四	一、一四五、六二六	一、〇三八、六二六	七三、四四九	一二、三三三
二〇九、二二七	五五七、七四六	一、六三三、九八七	—	二二、四七三	二七三、三三〇	四一三、七二七	三、九七八	四二、〇〇〇	一、二一六、二四二	三三八、一〇二	二、五〇八	五、六七〇	一六、八五八	六〇、一二六	六四、六三三	一六七、〇二二	五九〇、五八〇	三七〇、二九六	一、一四九、二二〇	三五〇、三〇九
六、七九八、三八二	一九、三〇七、〇五五	八五、一二二、八四八	五、六七三	一、八三四、二〇三	—	八六〇	八七七	五	一七	—	一、四五七、三四四	一、九〇〇、〇六五	一九、八五六	六〇五、二二七	一、四二二、〇〇七	一、二〇四、六五二	六、二三九、五三九	一、四五一、四〇八	七〇七、四二二	三一、四五二
一、二四三、一六三	四、〇一三、六〇四	九、三六二、〇一〇	九、〇三七	三六五、九〇五	二、二一九、二七三	二、六六七、六〇二	一二、六八四	二二、〇〇〇	六、六七九、六六一	二、七二一、六二三	一、七一、八九〇	三九八、九八五	二六、八〇四	三〇六、六四七	一、一二九、六四四	一、〇〇一、五三三	三、五四二、一八三	四、七九一、四八九	九、三八八、三八三	一、六〇八、二〇五
五、一三九、四五六	三九、〇一八、五八四	七、二九七、六五一	三九、四五五	二、七六六、三五七	—	二八	一、三五四	二	一三	—	一、一〇四、五三九	六四三、八一〇	三三八、五四七	二四八、五三四	六〇九、四〇二	九八三、五五七	三、一九七、三八五	七、八三九、五八四	五五一、六九六	二、五七九
五九四、二一六	五、〇三九、〇〇一	五一六、七〇七	四、二九六	四三七、一一三	二九八、九七五	七二三、四八五	九一、九八五	二二九、〇三〇	一〇、五八五、五一九	一、三六七、一四七	一一九、〇〇四	二二三、一七六	二七九、九〇八	一一五、二四五	七九〇、〇七九	一七八三、四一三	二、四〇八、五四三	四、三三六、四一四	六〇八、一〇	—

●大正六年十二月中本邦鐵及重要金屬並石炭產額表（農商務省鑛山局調）

鐵 と 鋼 第四年 第三號

鐵の產出狀況

鑛山名 所在地

大正六年十二月

大正五年十二月

釜石 岩手(銑鋼)

四、七三〇・六
一、六九九・二

三、五四五・三
二、一五五・五

仙 人 同(銑)

二九四・二

三、一六六・〇

栗 木 同(銑)

二三〇・五

二、七七八・三

重要金屬の產出狀況

重要金屬の名

大正六年十二月

大正五年十二月

金

一五五、一四六

一六、三八二

銀

六、〇三七、一八二

四、四〇一、九一六

銅

一、四〇七、四六二

一二、五五四、八一六

石炭の產出狀況

鑛山名 所在地

大正六年十二月

大正五年十二月

夕張 石狩

一二四、七四二

一一七、六七八

眞谷地 同

一八、〇〇七

一六、八八一

新夕張 同

三八、九四五

二七、六六四

空知 同

三三、〇三一

一七、三九二

幾春別 同

七、一八〇

七、九九九

幌內 同

二三、七四〇

一九、一二三

奔別 同

一三、四六二

九、九四三

三井登川 同

一二、六六五

一六、〇八五

大夕張 同

九、〇七七

七、四五八

三菱美唄 同

四二、六三五

二九、九九六

入山 福島

二九、八三七

二八、〇九四

三〇二

小野田 同

一二、九六二

二一、一三六

内郷 同

四六、五二八

四二、八七一

王城 同

四、九六五

七、〇三〇

好間 同

三八、四二〇

二五、四〇三

隅田川 同

八、二二七

八、二一七

平 同

六、六一五

五、一八二

茨城無煙 茨城

一三、九四六

一五、七三七

重 同

九、一二六

七、二三六

山口無煙 山口

五、五八二

七、六八五

茨城 茨城

二三、九六五

一五、〇五七

千代田 同

五、七八八

四、五六二

松浦 長崎

六、九五六

六、六三六

高島 同

二五、二六〇

一九、一八七

松島 同

三五、一七六

二六、七七二

崎戸 同

二七、七一七

三一、九二二

香焼 同

三、六一八

三、五二四

福島 同

六、五一六

七、七二八

沖ノ山 山口

二五、四八一

二九、五九四

大嶺海軍 同

六、五九八

五、四九六

東見初 福岡

二四、一一七

一九、一五四

大辻 同

三〇、二六三

二三、三五二

高江 同

一三、三九五

二〇、〇五六

新海軍 同

一一、三五六

七、三五〇

新原海軍 同

四〇、一六一

三二、八〇一

岩崎 同

一三、四八〇

八、五八三

大	中	方	三	下	芳	三	豆	鯨	上	忠	二	豐	峰	三	赤	大	金	木	目	鹽	三	明	大	三	新	御
隈	鷗	城	池	山	雄	井	田	田	山	隈	瀬	國	地	井	池	峯	田	屋	屋	井	本	治	之	好	入	德
統	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
計																										
	一三、〇五七	一六、二二四	一九、八二一	一八三、四一四	一〇、五四一	二三、九九八	三三、六七三	一三、三四一	三五、七〇二	一四、七九四	二六、三九八	五二、九一三	三八、九〇二	五七、四七六	九六、七八四	一〇、五六七	二八、四四五	一八、九四六	一三、八〇〇	三六、九一〇	一六、九〇六	三五、八四三	七三、〇〇一	六一、七二三	二九、二四四	六、四八四

一三、三〇九	一三、三〇九	一九、九三二	一八五、五六四	一一、一四六	二六、九〇八	三五、七七四	一八、八一四	四五、六九二	一八、五八三	三一、〇三三	六五、八三二	四四、七一八	五四、二八八	八九、一七八	一二、三六三	二五、九六一	二三、五五八	一四、三三七	四一、〇〇五	二二、三七四	四三、七七六	七五、五〇九	七、六二〇	三六、七三五	七、七五〇
--------	--------	--------	---------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	-------	--------	-------

久	岩	芳	相	杵	飯	福	姪	新	字	野	平	泉	三	旭	龜	高	高
原	屋	谷	知	島	塚	岡	濱	目	美	田	山	水	笠	山	二	田	松
同	同	同	同	佐	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

三、六〇〇	二六、二四四	四五、〇四七	四〇、二五九	五四、二一三	一八、八一三	一一、八四〇	二一、五九〇	六、一四九	三、三六一	三、〇七二	九、七五〇	八、一四九	四、四一九	八、四二六	六、〇八八	四、三六五	四、三四六
五、五五八	一九、九五七	四五、一八三	四〇、一二三	五九、九六三	一一、四五五	一三、三五七	一三、四四八	四、七七五	三、三二四	一、一五六	八、二八一	六、五三二	五、六六〇	一二、七七三	八、〇三三	五、〇七三	四、五四九